



ビジネスデザイン研究科
ビジネスデザイン専攻
博士課程前期課程 19期生

近藤 栄子さん

新 卒で入社した大手建設会社で二十数年、事務職として部門管理、秘書、営業、人事教育といった業務に携わってきました。勤続年数とともに経験値は増えましたが、社外の勉強会に参加したことで、大企業の仕組みのなかで守られ殻を破れないでいる自分に気づき、自信をもって他業種の人とも渡り合える力をつけたい、また利益を出すということにもっと貪欲になりたいという思いから、大学院進学を志し

にあったらと、落ち込んだり感動したりしながら、変化していく自分を感じています。昨今の思いがけない社会情勢の変化は、来るべき未来が強制的に前倒して実現していつているかのようで、職場でもデジタル化が急速に進みました。戸惑う日々ですが、でもどこかでなぜか大丈夫と思っているのは、学ぶことで少しずつ変化している自分を実感できているからではないかと思うのです。芽生え始めた、その根拠のない自信を、根

学ぶとは俯瞰すること燕の子

ました。立教大学は以前から講演会等で訪れる機会があり、RBSの入試日も、面談終了後、構内で開催されていたアカデミーフランセーズ会員である作家ダニー・ラフェリエール氏の講演に直行するなど、稀に見る美しいキャンパスで過ごす時間はかねてより喜びとなっていました。リベラルアーツ教育を基礎とした校風のもと、経営管理学を入門的なレベルからしっかり学ぶことは、大きな魅力であり、RBSへの入学は私にとって自然な選択だったと思っています。

実際に授業が始まり、研ぎ澄まされた論理を学ぶにつけ、今まで遭遇してきたビジネス上の場面が思い起こされ、こうした経営的な言語や思考がああ時の自分

拠のある自信に変えるべく、卒業までの2年間、MBAの専門科目を幅広く学び、戦略的な判断力や創造的な思考力をしっかり身につけていきたいです。

本学卒業生である先生方からの講義では、立教大学の沿革や歴史、働きながら勉強を続け研究者となられた奮闘の日々についてもお聞かせいただき、勇気をいただいています。学ぶことをサポートしてくれている家族や応援してくれている職場の上司の期待にも応えていけること、そして、まだオンライン上でしか交流できていない同級生、先輩の皆さんとも、学びを分かち合える日が一日も早く実現することを願っております。

学ぶとは俯瞰すること燕の子 栄子

BizCom
Vol.61

編集
後記
へんしゅうこうき

Editor's postscript

新型コロナウイルスの影響が想定以上に大きく皆さん苦慮された中、亀川先生をはじめ寄稿して下さった皆様や編集メンバーのおかげで発行まで漕ぎ着けたことを嬉しく思います。思ったように活動できなかった点は残念ですが、次号へさまざまな期待を持ちたいと思います。(編集長/星 信司)

今期のBizComも素晴らしい仲間のおかげで、楽しみながら推進させて頂いております。(石川 厚太)

M1の皆様、はじめまして! M2の皆さん、ご無沙汰しております^^ コロナの影響で学校でお会いすることができず心苦しく思っておりますが、いかがお過ごしでしょうか? そんな中ではありますが、今号のBizComが皆様のステイホームの一助になれば幸いです。秋学期にはコロナも収束し、池袋界隈の飲み屋あたりで皆様とお会いすることを心より願っております。酔っ払って絡んだり致しません。ホッピーを飲みすぎてちょっと寝てしまうかも知れませんが、最後はタクシーで帰りますw こんな私ですが今後ともよろしく願い申し上げます! (副編集長/土屋 勇磨)

立教大学大学院 ビジネスデザイン研究科

■発行責任者: 山中 伸彦 ■編集長: 星 信司 ■編集委員: (18期生) 石川 厚太/土屋 勇磨

Biz Com Vol.61

■デザイン: 株式会社ヤギスタデザイン ■印刷: 藤原印刷株式会社

[BizCom] 2020年8月21日発行 ※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。